



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 160 号 ■

人権保障の到達と課題を学ぶ「人権Café」

ファルマの各職場では、世界の人権保障の歴史と到達を学び、仕事やくらしの課題について語り合う「人権Café」学習運動を行っています。
今回は2つの職場の取り組みをご紹介します。

意見や感想をもち寄って 「ファルマ一ツ谷薬局」の取り組み

ファルマ一ツ谷薬局 薬局長 佐藤 真由美



職場学習の様子

いつも学習会を開催するときは木曜日の午後を利用して、スタッフ各々読み進めてもらった後で、みんな意見や感想をもち寄って学習しています。
Vol.2ではジェンダーからの自由について考える紙面でした。日本は残念なことにジェン

個人が尊重される世の中に 「ファルマ弘前薬局」の取り組み

ファルマ弘前薬局 工藤 由希子

ファルマ弘前薬局では4つのグループにわかれて、各自読んだ感想などの話し合いをしています。今回は私が参加したグループから出た感想をご紹介します。

日本はジェンダーギャップ指数が156か国中120位だということに驚き、賃金格差の問題も深刻で男女の平均年収を比べ

格差をなくす

ファルマ弘前薬局 薬剤師 成田 創

6月23日(水)に開催された全日本2021卒業薬剤師研修は新型コロナウイルスの感染拡大の影響

で女性への偏見や差別がまだまだ強く残っていること、無意識に根付いているジェンダー意識、ジェンダーギャップ指数を見ると日本はまだ遅れていることがわかりました。みんなで意見交換することで気が付くこともありました。新聞は一度だけでなく再度読み返してみることをお勧めします。



グループ学習の様子

が人権の問題を考え、個人が尊重される世の中になるよう、声を上げていきたいと感じました。

共に頑張る

ファルマ弘前薬局 薬剤師 奈良 美春

6月26日(土)、全日本民医連2020年卒業薬剤師研修がZOOMにて行われました。この研修には、全国の民医連の新卒二年目の薬剤師が参加しました。まず、全国規模での研修は初めてだったので、どんなふうになるのか不安でした。初めに、ZOOMで5、6人ごとに班分けされ、そこで自己紹介を行いました。次に、あいうえお作文と一緒に作ったり、お題に関して議論したりしました。

また、それぞれの悩み

り合いました。話し合いの内容は、コロナ禍での悩み、病院と保険薬局の先輩薬剤師のお話の感想、全日本民医連会長の増田剛医師のコロナ禍での民医連の役割についてのお話で印象に残った内容などを自分の身近なことにあてはめてディスカッションしました。

サーバーの切り替わる時間も限られており、熱く話し合っている最中に切り替わったりもしたので少し不完全燃焼なところもありましたが、全国と同じ組織にいる人たちで現状を語り合えたのはとても有意義な時間でした。

ZOOM開催でしたが、いつか、直接会って話せるときが来てほしいと切に願っています。とても刺激になった研修会でした。



【写真提供：全日本民医連】

小田桐薬剤師(上段右から二人目) 奈良薬剤師(上段左から二人目)



【写真提供：全日本民医連】

コロナ禍での民医連の役割について話す増田会長

19才のわたし

弘前調剤センター 薬局長 津川 俊彦

大学受験を失敗して、何かも自分に自信がなかった浪人時代に出逢ったバイクの話しよう。今から数えると37年前になる。私の卒業した高校に隣接している鏡ヶ丘記念館では、先生が授業の合間を使って浪人生に勉強を教えてくれた。通称「4年生」と呼ばれて、現役3年生と同じ校内テストを受けることもあった。点数も上向きにならず、もんもんとしていた。

そんな浪人時代に私は友人の影響を受け、バイクに夢中になった。本町にある山本ホンダに展示しているバイクに一目惚れして購入した。中古のホンダXLパリダカである。長距離にも耐えられる大きなタンクがついている。タコメーター、スピードメーター、ブロックタイヤどれもカッコいい。キックでエンジンをかける。この儀式もいい。単気筒エンジンの音もいい。さっそく、購入して翌日からバイク通学。午前中勉強して、午後はバイクであちこちを走る。自分の行動範囲がどんどん広がっていく。走っているだけで楽しかった。久渡寺の手前を曲がって、山の峠を攻める。(走り抜けた)十和田湖も攻めた。怖い思いも何度も経験してスリリングであった。バイクで走っているとイヤなことも忘れることができた。

もし、私はバイクに出逢っていなかったら勉強だけの辛く暗い浪人時代になっていたかもしれない。バイクは、人生を変えてくれた。宝物であった。



一目惚れしたバイク

6月28日(月)弘前市民会館大会議室で核燃・だまっちゃんおられん津軽の会第33回市民講座が開催されました。弘前大学農学生命科学部教授の泉谷真実氏を講師に迎え、「日本の再生可能エネルギー―普及政策―」についてお聴

再生可能エネルギーについて考える

ファルマ弘前薬局 工藤 由希子

再生可能エネルギー普及の目的で2012年7月に導入された固定価格買取制度(FIT)は、再生エネルギーを用いて発電された電気の買い取りを、一定期間国が定める固定価格で電気事業者に義務付ける制度ですが、この買い取りにかかった

費用は電気料金に上乗せされ、消費者から賦課金として集められています。また、初期投資が必要なため大企業が主体となるほか、大規模事業による環境破壊も大きな問題です。このように、現在のFITは課題が多く、まだまだ議論が必要な制度です。

永続的に利用することのできる再生可能エネルギーを拡大させることがメインではなく、地域の活性化、そして消費者に還元することのできる制度に変えていくべきだと思います。

写真紹介

スキルアップを目指して

6月16日(水)ファルマ弘前薬局会議室で薬剤師スキルアップ研修会を開催しました。講師は黒石薬局の大川薬局長で「服薬指導・薬歴」について話しました。15名の参加者は熱心に聴いていました。



とても熱心に聴いています

学び合い高めろ

6月18日(金)ファルマ弘前薬局会議室で事務研修会が行われました。毎月担当者を決めそれぞれのテーマで研修を行っています。今回はファルマ弘前薬局の工藤由希子さんが「接遇・医療接遇とは」をテーマに話しました。



今回のテーマは「接遇」



ファルマから7名が参加しました

初めての出前講座講師

6月21日(月)弘前市民文化交流館ホールで弘前地区女性会主催の出前講座が開催されました。「家でできるコロナ対策とワクチンについて」をテーマにファルマ弘前薬局の奈良薬剤師が講義しました。64名の参加者からは、「とても聞きやすかった」「内容が高齢者でもわかるものだった」とうれしい感想がありました。



正しい手の洗い方について話す奈良薬剤師

関心の高いテーマ

6月24日(木)藤代健生病院第2デイケア棟で藤代健生病院デイケア科主催の出前講座が開催され、藤代薬局の木村薬局長が「新型コロナとワクチンについて」をテーマに話しました。参加者の関心度が高い内容だったため、時間いっぱいまで質問が途切れませんでした。



質問に丁寧に答える木村薬局長

一人でも多くの人に訴える

6月27日(日)弘前駅前りんご広場で憲法9条守れ、戦争法廃止!集会とパレードが開催されました。ジリジリと日差しが強い中、ファルマからは9名が参加し、「安保法制の廃止」、「国民投票法の改定不要」を強く訴えました。



風をきって歩く